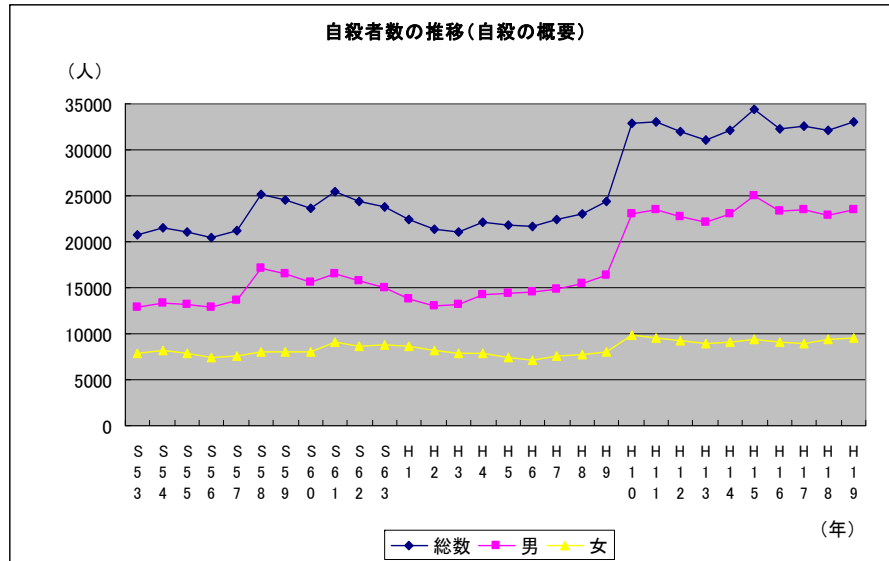


我が国の自殺の現状

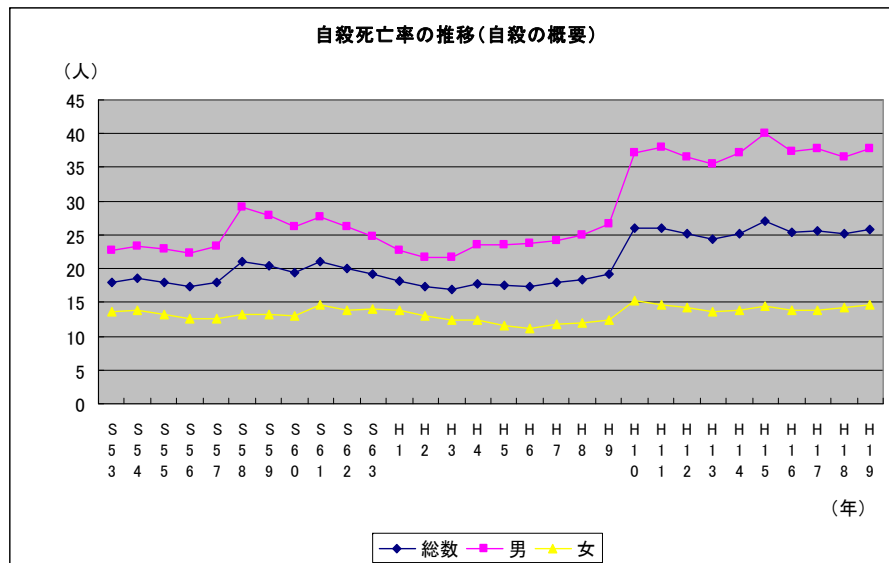
1. 自殺者数、自殺死亡率の推移



○自殺者数は、警察庁の自殺の概要資料によれば、平成10年に急増、以後10年連続して3万人台で推移、平成19年は過去2番目に多い33,093人

○厚生労働省調べでも増減の傾向は一致。10年連続して3万人前後で推移

○自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数)も、自殺者数と同様に平成10年に急増、平成19年は25.9と高い状態が継続



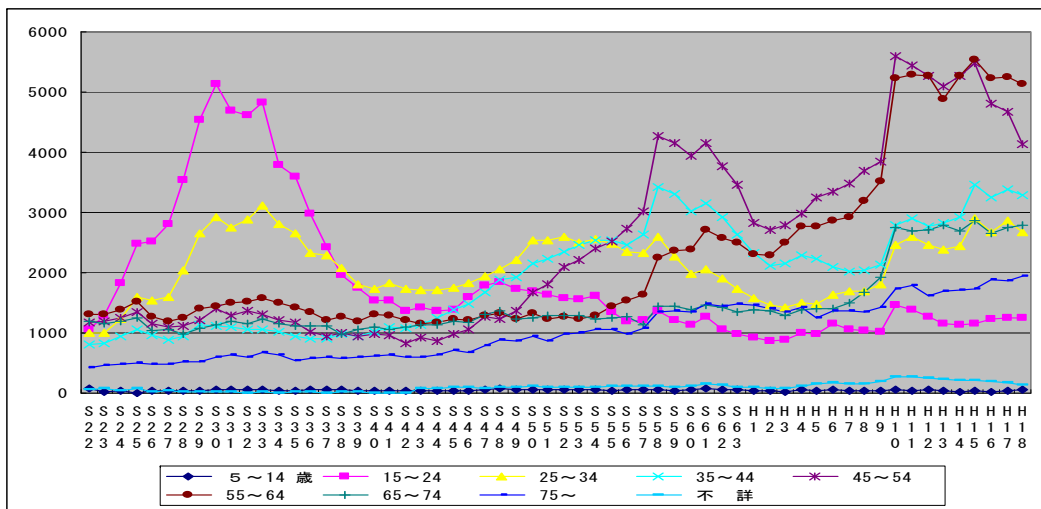
○男性は総数と同様の傾向で推移
現在、統計開始後、最も高い水準

○女性は男性に比べ、一貫して低い水準で推移、男性に比べ、大きな変動なし

2. 年齢階級別の自殺者数の推移

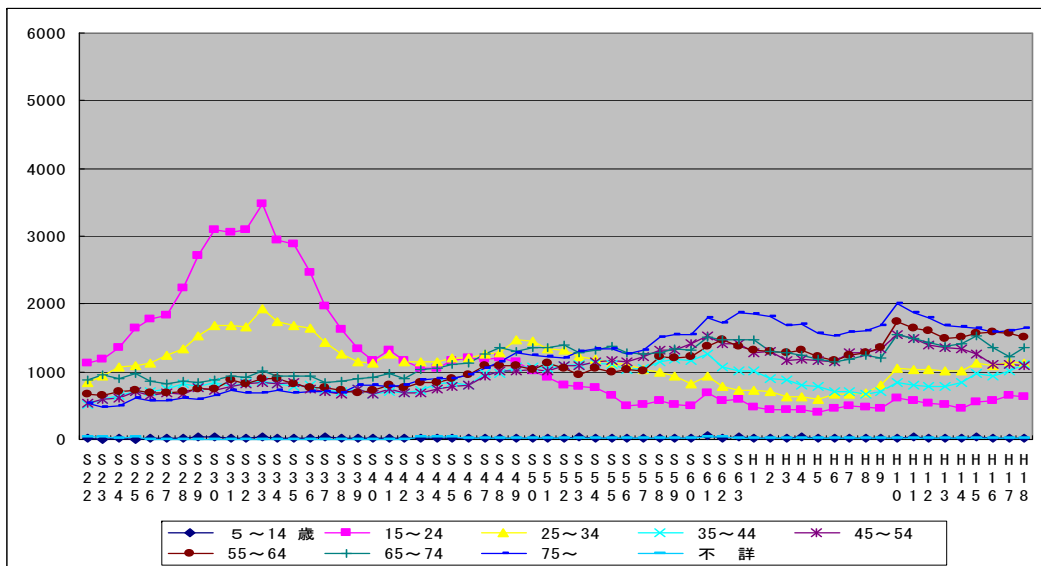
(男性)

(人口動態統計)



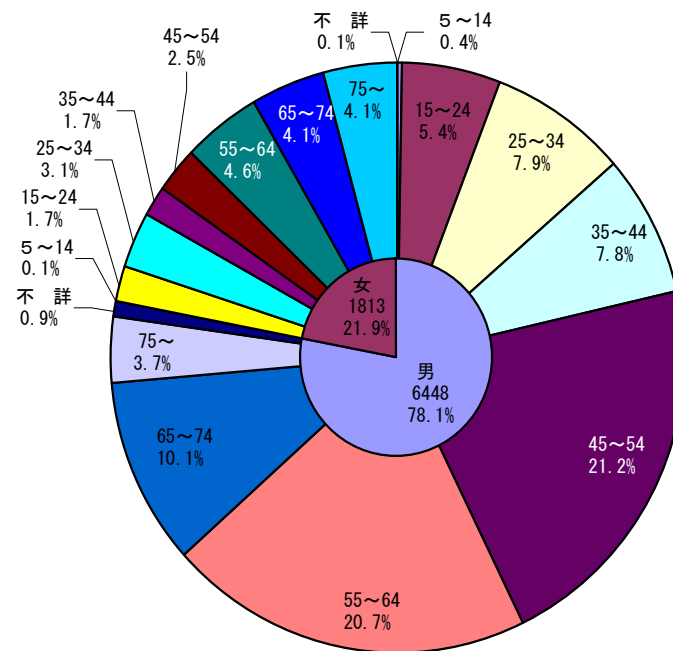
(女性)

(人口動態統計)



○平成10年には、男女とも全ての階級で増加しているが、特に中高年男性(45~64歳)の占める割合が大きい

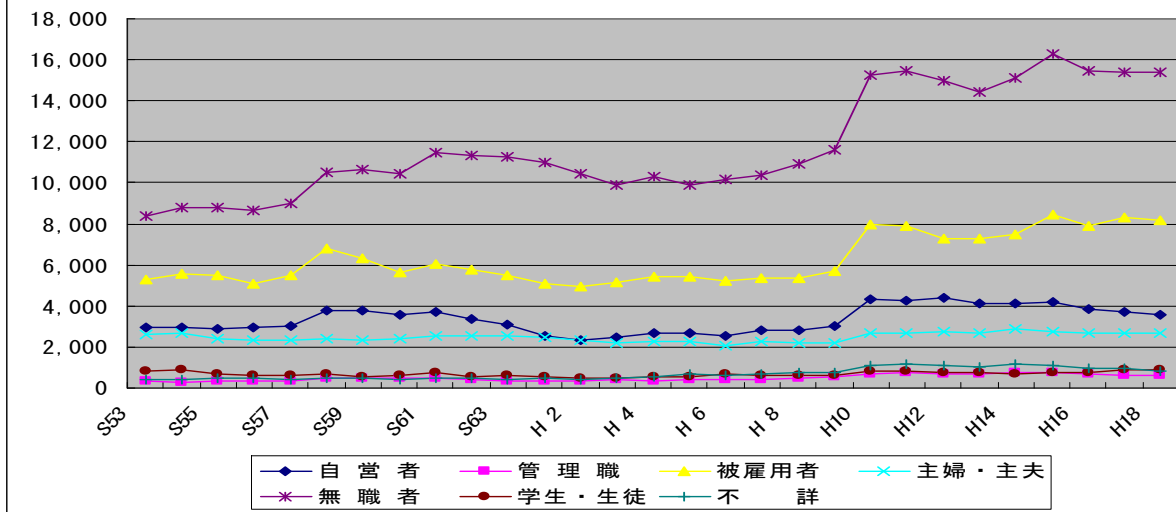
(平成9年から平成10年の男女別・年齢階級別(10歳階級)の自殺者の増加数・構成割合)



(人口動態統計より内閣府作成)

3. 職業別、原因・動機別の自殺者数の推移

職業別自殺者数の推移(自殺の概要)



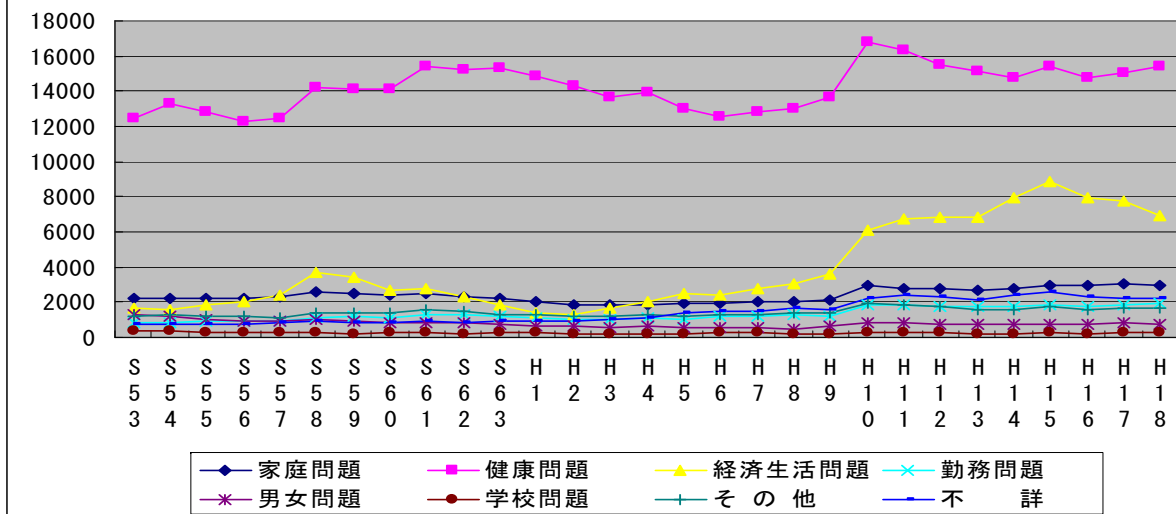
○平成18年は、
無職者が48%、
次いで被雇用者が25%、
自営者が11%を占める

○平成10年には、
自営者(43.8%増)
被雇用者(39.7%増)
が大幅に増加

○平成18年は、
健康問題が48%
次いで経済生活問題が
22%、
家庭問題が9%を占める

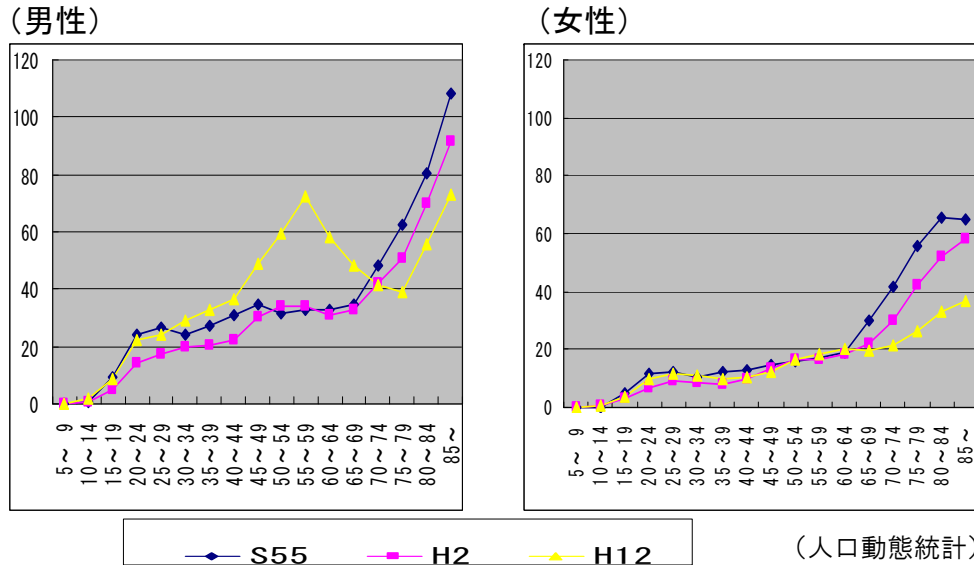
○平成10年には、
経済生活問題(70.4%増)
勤務問題(52.6%増)
が大幅に増加

原因・動機別自殺者数の推移(自殺の概要)



4. 平成10年における自殺者数の急増要因

(年齢階級別自殺死亡率の年次比較)

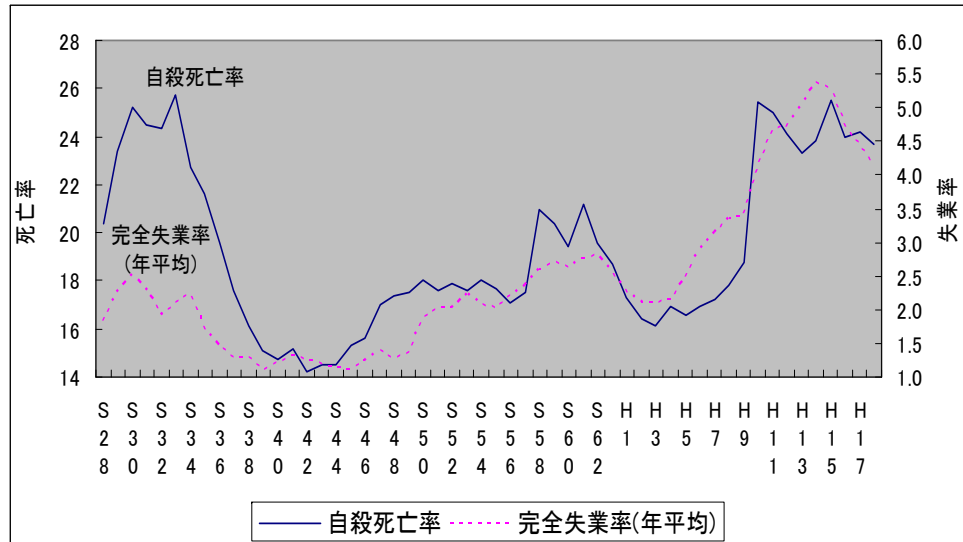


- 45歳から64歳までの中高年男性の自殺者数の増加が大半
- 男性中高年の自殺死亡率の上昇が顕著、50歳代後半にもピーク
- 職業別では、自営者、被雇用者の増加率が高い
- 原因・動機別では、経済・生活問題、勤務問題の増加率が高い



(失業率と自殺死亡率)

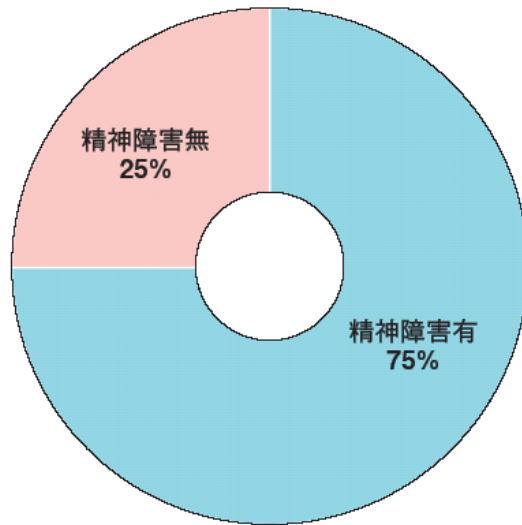
(人口動態統計及び労働力調査)



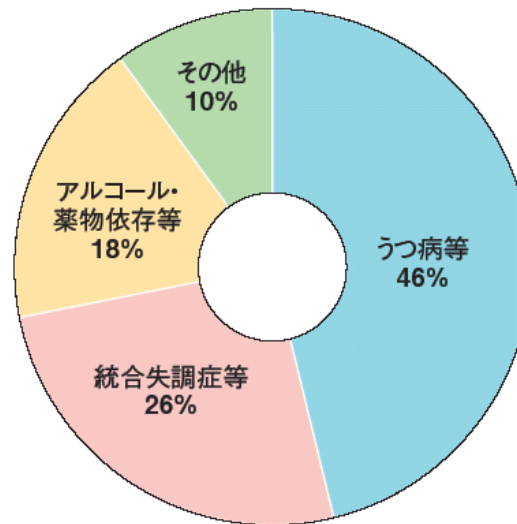
統計分析から明らかにすることには限界もあるが、人口増と高齢化の進展に加え、当時の社会経済的変動が働き盛りの男性に対し強く影響し、中高年男性の自殺死亡率が急増
併せて、社会経済の変動に影響されやすい特徴をもつ60歳代の自殺死亡率も増加
これらの影響が相まって自殺者数が急増

5. 自殺を図った者の多くはうつ病に加えて、統合失調症、アルコール依存症などの精神疾患に罹患している

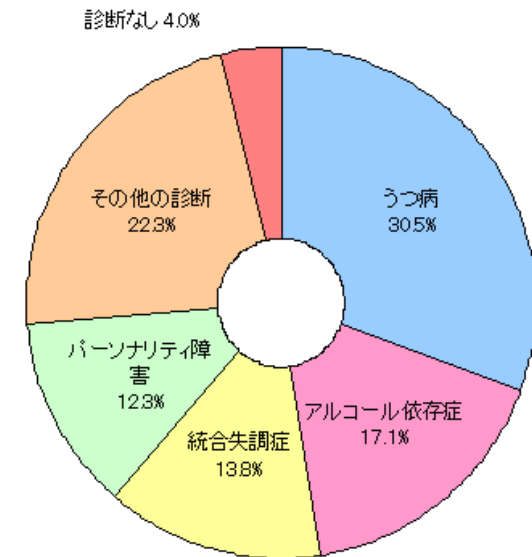
自殺企図者の精神障害の有無



精神障害の内訳



自殺とこころの病

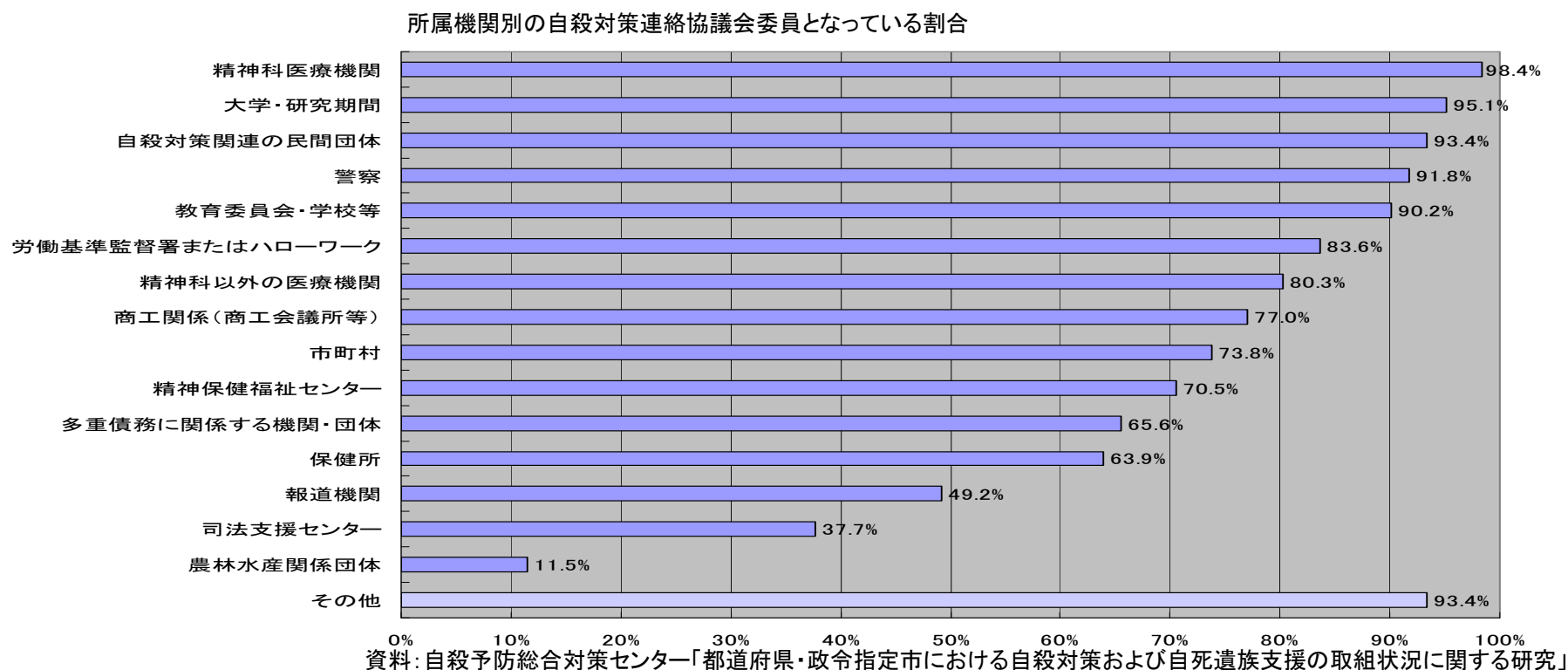


資料：自殺の危険因子としての精神障害 —生命的危険性の高い企図手段をもちいた自殺失敗者の診断学的検討—
飛鳥井望（精神神経誌 96：415-443, 1994）

資料：自殺とこころの病（WHO 2002）

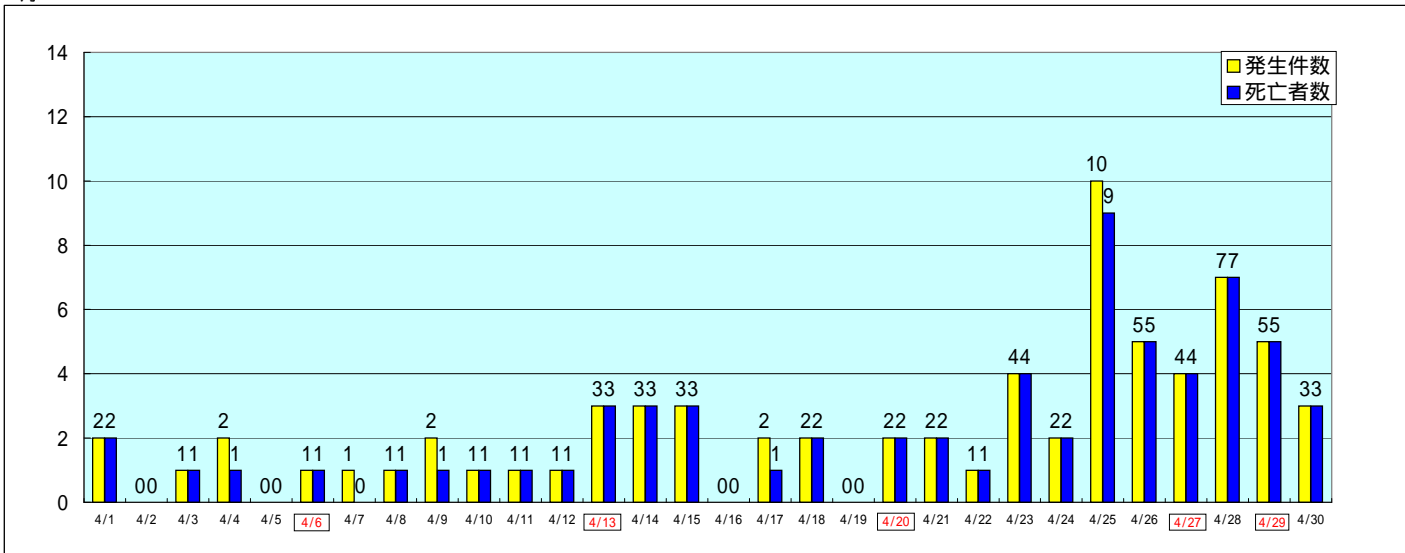
6. 自殺対策連絡協議会の設置状況について

- ・「都道府県・政令指定都市における自殺対策および自死遺族支援の取組状況に関する調査」(国立精神・神経センター 精神保健研究所 自殺予防総合対策センター)によれば、自殺対策連絡協議会は全都道府県で設置されている。
- ・自殺対策の担当課を定めている市町村数の把握状況については、「すべて」12箇所(25.5%)、「一部」16箇所(34.0%)、「上記以外」19箇所(40.4%)。
- ・自殺対策連絡協議会の委員数は、6人から49人まで幅があり、平均は21.6人。
- ・委員の構成は以下の通り。



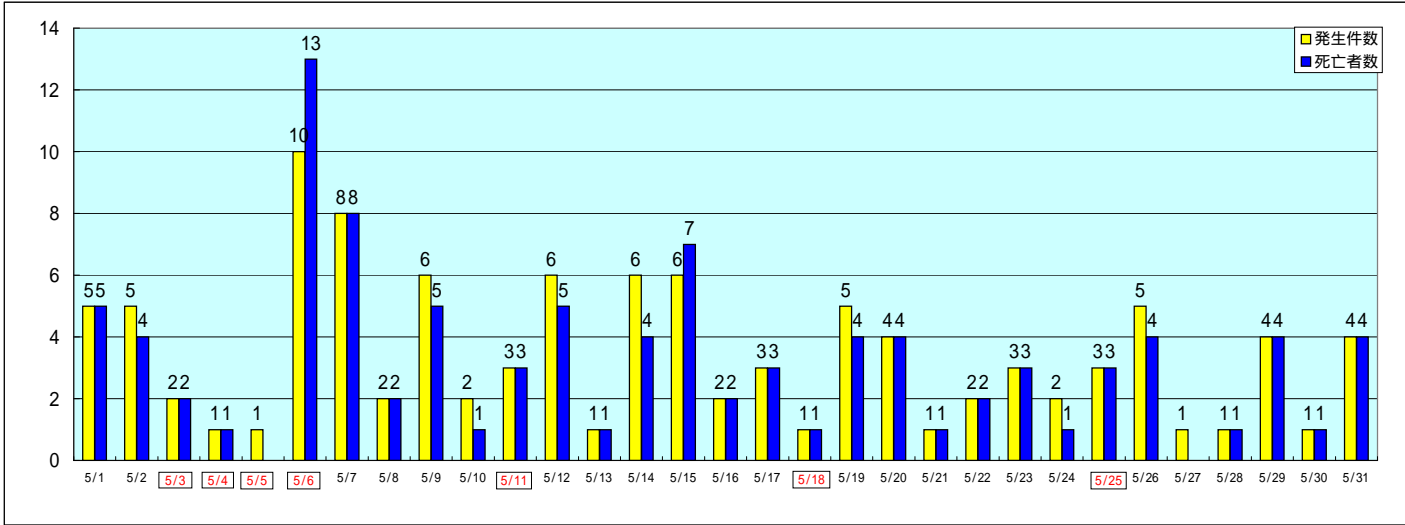
7. 硫化水素事案の発生状況(8 / 31現在 消防庁調べ)

4月



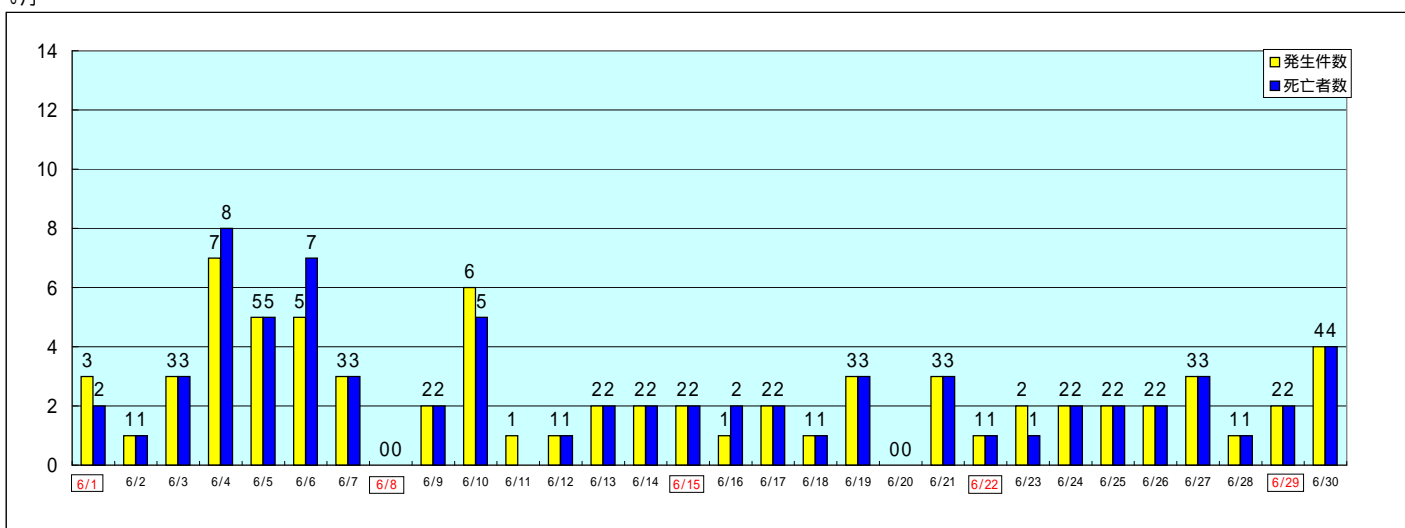
4月
発生件数 71件
死亡者数 66人

5月



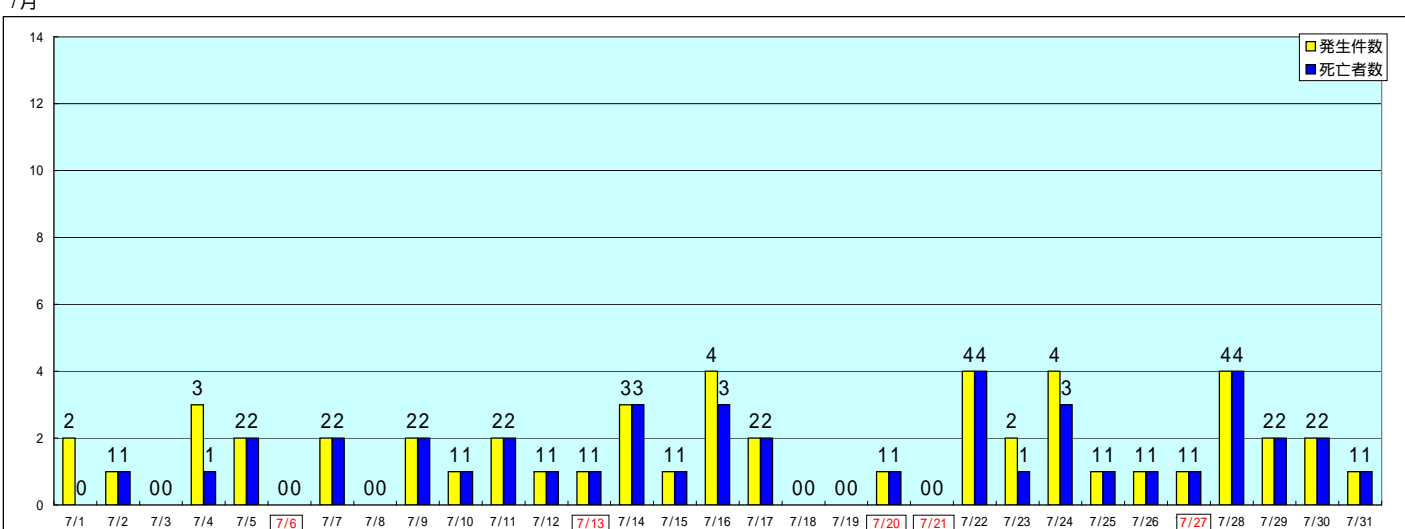
5月
発生件数 106件
死亡者数 99人

6月



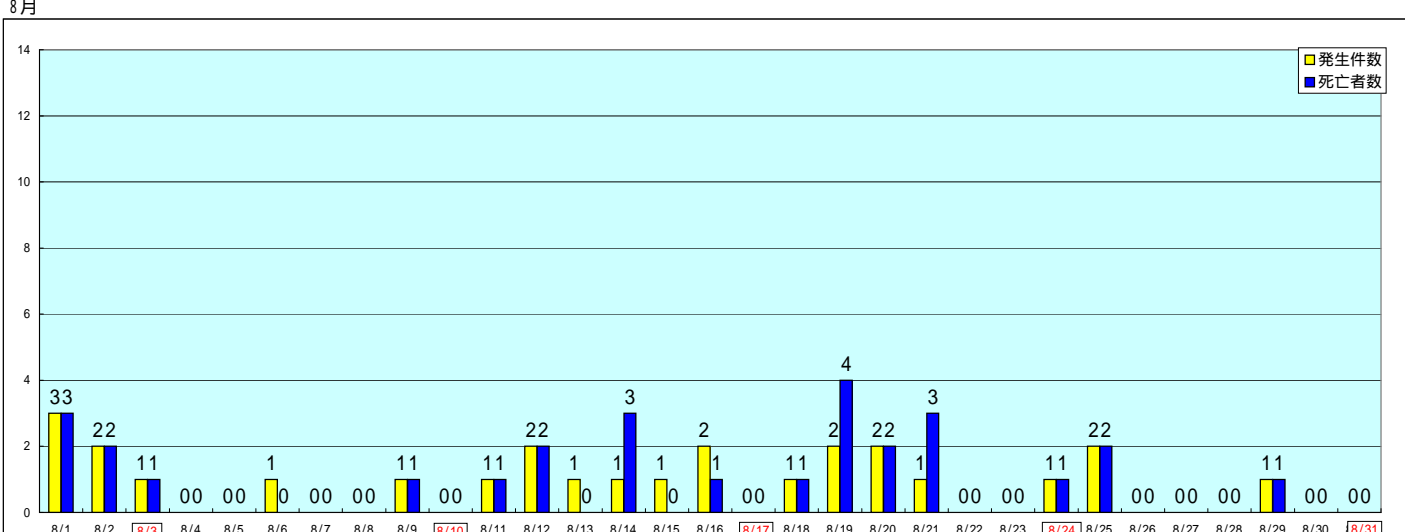
6月
発生件数 72件
死亡者数 72人

7月



7月
発生件数 50件
死亡者数 43人

8月



8月
発生件数 26件
死亡者数 28人

8 . 最近の硫化水素事案の状況

(平成20年4月1日～8月31日)

1 死亡者の性別・年齢別

年齢階層			男		女	
年代	死亡者(人)	構成率(%)	死亡者(人)	構成率(%)	死亡者(人)	構成率(%)
10代	26	8.4	16	6.5	10	16.7
20代	116	37.7	92	37.1	24	40.0
30代	65	21.1	55	22.2	10	16.7
40代	36	11.7	31	12.5	5	8.3
50代	11	3.6	10	4.0	1	1.7
60代	2	0.6	1	0.4	1	1.7
70代	2	0.6	1	0.4	1	1.7
不明等	50	16.2	42	16.9	8	13.3
合計	308	100	248	100	60	100

2 都道府県別の発生状況

	発生件数	死亡者(人)		発生件数	死亡者(人)
北海道	2	2	滋賀	9	12
青森	0	0	京都	4	4
岩手	7	7	大阪	42	39
宮城	4	4	兵庫	18	18
秋田	5	5	奈良	0	0
山形	0	0	和歌山	4	4
福島	2	2	鳥取	1	1
茨城	8	11	島根	4	3
栃木	6	3	岡山	9	10
群馬	5	9	広島	5	5
埼玉	29	29	山口	1	1
千葉	30	23	徳島	2	1
東京	10	11	香川	3	3
神奈川	23	20	愛媛	3	3
新潟	8	8	高知	3	3
富山	2	2	福岡	4	4
石川	2	2	佐賀	4	1
福井	3	3	長崎	6	8
山梨	2	2	熊本	0	0
長野	2	2	大分	5	5
岐阜	6	6	宮崎	0	0
静岡	17	16	鹿児島	7	2
愛知	9	7	沖縄	7	5
三重	2	2	全国	325	308

9. 硫化水素による自損行為とインターネット上の掲示板の情報の推移

